

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ナガサキオオムラシツナイガッソウダン 認定特定非営利活動法人 長崎OMURA室内合奏団	団体ウェブサイトURL <a href="https://omurace.or.jp/">https://omurace.or.jp/</a>
代表者職・氏名	理事長 嶋崎 真英	
制作団体所在地	〒 856-0820 最寄り駅(バス停) 長崎県営バス大村線協和町北 長崎県大村市協和町703-1	
電話番号	0957-47-6357	
ふりがな 公演団体名	ナガサキオオムラシツナイガッソウダン 認定特定非営利活動法人 長崎OMURA室内合奏団	団体ウェブサイトURL <a href="https://omurace.or.jp/">https://omurace.or.jp/</a>
代表者職・氏名	理事長 嶋崎 真英	
公演団体所在地	〒 856-0820 最寄り駅(バス停) 長崎県営バス大村線協和町北 長崎県大村市協和町703-1	
制作団体 設立年月	2003年10月	
制作団体組織	役員 理事長/嶋崎真英、副理事長/村嶋寿深子、理事/中澤和嘉、吉澤俊介、馬場邦彦、福谷美保子、植松俊徳、川添信也、荒木健治、船橋修一、監事/橋口俊哉	団体構成員及び加入条件等 芸術監督1名 団員/34名、ステージマネージャー1名、ライブラリアン1名 事務局/5名
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名 藤崎澄雄
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名 牧野ことみ
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:sumio@omurace.or.jp">sumio@omurace.or.jp</a>	

<p><b>制作団体沿革</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2003年10月 大村市振興公社が運営するさくらホール自主事業として、長崎県初のプロオーケストラ、OMURA室内合奏団を結成。「しまの芸術祭」を長崎県より受託。</li> <li>・2004年7月 第1回定期演奏会</li> <li>・2005年10月 日韓合同交流音楽会・韓国大邱市公演</li> <li>・2011年12月 NPO法人設立</li> <li>・2014年9月 認定NPO法人</li> <li>・2015年5月 東京公演・紀尾井ホール</li> <li>・2016年7月 事務所移転独立運営となる</li> <li>・2018年1月 長崎OMURA室内合奏団に名称変更</li> <li>・2018年9月 福岡公演・FFGホール</li> <li>・2019年6月 日本オーケストラ連盟準会員加盟</li> <li>・2020年 アートキャラバン事業3公演ほかコロナ禍対策補助事業</li> <li>・2021年 アートキャラバン事業5公演ほかコロナ禍対策補助事業</li> <li>・2022年 アートキャラバン事業3公演ほかコロナ禍対策補助事業</li> <li>・2023年 アートキャラバン事業2公演ほかコロナ禍対策補助事業</li> <li>・2023年10月 20周年スペシャルコンサート</li> </ul>			
<p><b>学校等における公演実績</b></p>	<p>アンサンブル公演 2005年より2022年の開催実績:長崎県14市町、佐賀県2市において453校。 内離島151校(五島市、上五島町、壱岐市、対馬市、西海市平島、平戸市度島、長崎市高島)</p> <p>2011年度 文化庁次代を担う子どもの文化芸術体験事業 長崎県内の離島、へき地を中心に小学校21校</p> <p>2013年度 文化庁次代を担う子どもの文化芸術体験事業 長崎県内の離島、へき地を中心に小学校33校</p> <p>オーケストラ公演 2014年～2019年 大村市内小学校15校の5年生全員を対象にさくらホールで実施。 ※2020年よりコロナ対策もあり、学校巡回型に変更し、継続中。</p>			
<p><b>特別支援学校等における公演実績</b></p>	<p>2011年度 諫早東特別支援学校 2012年度 諫早東特別支援学校 2016年度 五島鶴南特別支援学校高等部 2017年度 県立虹の原特別養護学校 2018年度 県立ろう学校 2020年度 県立諫早東特別支援学校、大村特別支援学校、佐世保特別支援学校、虹の原特別養護学校、障害者支援施設鈴田の里 2023年度 五島鶴南特別支援学校高等部</p>			
<p><b>参考資料の有無</b></p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>無</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>			
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 認定特定非営利活動法人長崎OMURA室内合奏団】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	8人のオーケストラ！		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p><b>【第1部 楽器やアンサンブルを知ろう】</b></p> <p>①モーツァルト/狩(長崎OMURA室内合奏団特別8重奏版) ～弦楽器紹介～ ②モーツァルト/アイネ・クライネ・ナハトムジークより第1楽章 ～管楽器紹介～ ③ハイドン/ロンドントリオ第1番より第1楽章 ④グリーグ/「朝」(組曲「ペール・ギュント」より) ⑤モンティ/チャルダッシュ《長崎OMURA室内合奏団8重奏特別版》</p> <p>(休憩15分)</p> <p><b>【第2部 みんなでいっしょに】</b></p> <p>～弦楽器体験～ ⑥ヴァイオリン・チェロ体験 共演曲:①きらきら星 ②ぶんぶんぶん ③オブラディ・オブラダ ⑦大野克夫/名探偵コナンメインテーマ ～リズム体験～ ⑧小学校:ウィナー/茶色の小瓶《長崎OMURA室内合奏団の演奏と一緒にリズムを叩いてみよう!》 中学校:プレード/Mambo Jumbo《長崎OMURA室内合奏団の演奏と一緒にリズムを叩いてみよう!》 ～歌声とアンサンブルで共演～ ⑨校歌《長崎OMURA室内合奏団スペシャルアレンジ》 ⑩YOASOBI/ツバメ ⑪アンダーソン/フィドル・ファドル アンコール:シュトラウス I 世/ラデツキー行進曲</p> <p style="text-align: right;">公演時間 約 90 分</p>		
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名 名探偵コナンのテーマ、Mambo Jumbo、ツバメ
	該当事項がある場合 権利者名	JASRAC	許諾確認状況 採択後手続き予定

<p><b>演目概要</b></p>	<p>○第1部では「楽器やアンサンブルを知ろう」のタイトルに添い、目の前にある楽器の音色や特性に注目しながら進めていきます。(約35分予定)</p> <p>～オープニング～</p> <p>①モーツァルト／狩・・・モーツァルトの弦楽四重奏曲第17番。長崎OMURA室内合奏団8名特別アレンジで演奏会の幕開けを華やかに迎えます。</p> <p>～弦楽器紹介～</p> <p>弦楽器の構造や特性を紹介し、まずは「山の音楽家」を使って音色と音の高低に注目してもらいます。その後アイネ・クライネ・ナハトムジークで更にその音色の違いや特性を感じてもらえるようお話・演奏を進めていきます。</p> <p>②モーツァルト／アイネ・クライネ・ナハトムジークより第1楽章・・・「ひとつの小さな夜の音楽」という意味のモーツァルトの代表作。</p> <p>～管楽器紹介～</p> <p>フルート、クラリネット、ファゴットの説明とそれぞれの音を一節聞いてもらいます。その後ハイドンのロンドントリオ第1番を使い、音楽の中でそれぞれの音色や役割に注目してもらいます。</p> <p>③ハイドン／ロンドントリオ第1番より第1楽章・・・1794年ハイドン2回目の英国滞在中に英国貴族の為に作曲した室内楽作品。</p> <p>次は「朝」を使いアンサンブルの構造や中身に少し触れてみる。楽器同士のやりとりに注目しながら聞いてもらいます。</p> <p>④グリーグ／「朝」・・・1875年ノルウェーの作曲家グリーグによる組曲「ペール・ギュント」の中の1曲。</p> <p>チャルダッシュは長崎OMURA室内合奏団特別版でそれぞれの楽器にソロやアドリブが割り当てられ、各楽器の音色や特性が活かされたアレンジとなっています。第1部の締めはこの曲を通して、各楽器の音色や特性の違いを音楽の中で感じてもらいます。</p> <p>⑤モンティ／チャルダッシュ・・・イタリアの作曲家モンティが作曲した「酒場風」という意味のハンガリー音楽のジャンルのひとつ。</p> <p>休憩15分後、第2部はみんなと一緒に音楽を楽しむプログラムになっています。(約40分を予定)</p> <p>～弦楽器体験～</p> <p>⑥ヴァイオリン・チェロ体験・・・弦楽器を体験することにより、その楽器をより身近に感じるよう進めていきます。ただ体験するだけでなく、1回1回共演することで達成感を得ることができます。 (共演予定曲：①きらきら星 ②ぶんぶんぶん ③オブラディ・オブラダ)</p> <p>⑦大野克夫／名探偵コナンメインテーマ・・・今もよく見られているアニメのテーマ曲をアンサンブルで。</p> <p>～リズム体験～</p> <p>⑧小学校：茶色の小瓶／中学校：Mambo Jumbo 小学校：教科書にも載っている茶色の小瓶を使ってリズム体験を行います。 中学校：マンボの名曲Mambo Jumboを使って楽しくときに激しく！？リズム体験！</p> <p>～歌声とアンサンブルで共演～</p> <p>⑨校歌・・・長崎OMURA室内合奏団スペシャルアレンジで校歌を共演する。</p> <p>⑩YOASOBI／ツバメ・・・流行りのYOASOBIの曲の中でも特にメッセージ性の強い「ツバメ」を取り上げる。歌詞の紹介をしながらそのメッセージを生演奏を通して伝えます。</p> <p>～エンディング～</p> <p>⑪アンダーソン／フィドル・ファドル・・・「フィドル」はヴァイオリンの一種。「ファドル」は「ふざける」の意味。ヴァイオリンが活躍する華やかな曲でコンサートを締めくくる。</p> <p>アンコール：シュトラウス I 世／ラデツキー行進曲 (ラデツキー行進曲では前奏を皮切りに児童・生徒の近くに行って演奏を行う。長崎OMURA室内合奏団定番のアンコール曲)</p>
<p><b>演目選択理由</b></p>	<p>小編成の管弦楽に特化したプログラムです。 この8つの楽器の為に特別にアレンジされた長崎OMURA室内合奏団オリジナル譜を使用します。 特殊楽器や打楽器を使用していない為、離島を含めたへき地や遠方への移動も容易です。 また司会も演奏メンバーが務めることでより演奏者への距離も縮まることが期待できます。 第1部ではそれぞれの楽器の音色や特性を楽しめるプログラム、第2部では楽器体験やリズム体験、校歌共演などを盛り込み、聴衆を飽きさせないラインナップとなっています。 また小規模校では演奏者の近くで子ども達に演奏や息遣いを聴いてもらうといった形も取り入れています。</p>

<p><b>児童・生徒の共演、参加又は体験の形態</b></p>	<p>○楽器体験コーナー(ヴァイオリン、チェロ)          団所有の分数楽器等を使用し、ヴァイオリンやチェロをより身近に体験してもらいます。          ただ音を鳴らすだけでなく、演奏メンバーとそれぞれ共演も行います。          (共演曲:①きらきら星 ②ぶんぶんぶん ③オペラディ・オペラダ)          短い時間で演奏メンバーとの共演も果たすことで、音楽や楽器への興味を増幅させることができます。</p> <p>○リズム体験(小学校:茶色の小瓶、中学校:Mambo Jumbo)          小学校は教科書にも載っている「茶色の小瓶」を、中学校はマンボの名曲「Mambo Jumbo」を使用し、長崎OMURA室内合奏団の演奏と楽しく、ときに激しく!手拍子によるリズム体験(共演)を行います。ワークショップを含め、本公演内でも当団演奏家がレクチャーを行い、より一体感を持って共演に参加してもらえるように企画を練っています。</p> <p>○校歌          各校長崎OMURA室内合奏団特別アレンジによる校歌と共演して頂きます。          いつもと違う演奏にのって歌う校歌は、このコンサートや校歌をより特別なものにしてくれます。          (校歌のアンサンブル伴奏音源を収録したものを各校にプレゼントします)</p>					
<p><b>出演者</b></p>	<p>管弦楽:長崎OMURA室内合奏団</p> <p>本公演に参加する楽器編成          フルート1名、クラリネット1名、ファゴット1名          ヴァイオリン2名、ヴィオラ1名、チェロ1名、コントラバス1名</p>					
<p><b>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む</b></p>	<p>出演者: 8 名</p> <p>スタッフ: 0 名</p> <hr/> <p>合計: 8 名</p>	<p><b>運搬</b></p>	<p>ハイエース</p> <p>積載量: 1 t</p> <p>車長: 4.7 m</p> <p>台数: 1 台</p>			
<p><b>本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安</b></p>	<p>前日仕込み</p>	<p>無</p>	<p>前日仕込み所要時間</p>		<p>0 時間程度</p>	
	<p>到着</p>	<p>仕込み</p>	<p>上演</p>	<p>内休憩</p>	<p>撤去</p>	<p>退出</p>
	<p>9時</p>	<p>9時～13時00分 ※リハーサル含む</p>	<p>14時～ 15時30分</p>	<p>15分</p>	<p>15時30分～ 16時30分</p>	<p>16時30分</p>
<p>※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。</p>						
<p><b>本公演 実施可能日数目安</b></p> <p>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</p>	<p>6月 15日</p>	<p>7月 20日</p>	<p>8月 15日</p>	<p>9月 15日</p>	<p>10月 14日</p>	
<p>11月 14日</p>	<p>12月 10日</p>	<p>1月 10日</p>	<p>計</p>		<p>113日</p>	
<p>※平日の実施可能日数目安をご記載ください。</p>						
<p><b>児童・生徒の 参加可能人数</b></p>	<p><b>本公演</b></p>		<p>共演人数目安</p>	<p>楽器体験:約12名 それ以外の共演:生徒全員可</p>		
			<p>鑑賞人数目安</p>	<p>ご希望に応じて参加可</p>		

公演に係るビジュアル  
イメージ  
(舞台の規模や演出が  
わかる写真)

※採択決定後、図  
面等の提出をお願い  
します。



体育館フロアでの演奏を基本といたします。  
鑑賞人数に応じて、体育館を横方向に使用する場合があります。  
ご希望に応じて、ステージ上での演奏も可能です。



アンコール:ラデツキー行進曲ではより近くに行って演奏いたします。

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	会場収容可能人数の参加可
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>演奏者5名を派遣(司会を含む)</p> <p>○演奏者によるミニコンサート(弦楽四重奏を予定) アンサンブルの土台となる弦楽四重奏の演奏と共に音の重なりを身近に感じていく。 楽器紹介だけではなく、音楽の構造(メロディー、ハーモニー、リズム)にも踏み込み、曲の雰囲気や厚さ 変化していくことを身近に感じ、本公演への興味をより高めることが可能となる。 また、離島などの小規模校では、演奏者の近くで演奏を鑑賞してみるなど、 いつもとは違う演奏者の近くでその音色や息遣いを感じることで、更に本公演への期待を深めることができる。</p> <p>○コンサートをより楽しむための講座 普段の活動より演奏メンバーがコンサートをより楽しむための講座を開催していることもあり、 子ども達がより本公演を楽しむために、また他のオーケストラ公演等をより楽しめるような講座的な一面も盛り込むことで、本公演への興味を高めることができる。</p> <p>○共演曲リズム共演/校歌の練習 演奏家1名が先導しながら本公演で行うリズム共演の曲を練習する。手拍子と体を使い、演奏と共演することによって一体感を感じたり、音楽に参加する喜びを得ることができます。 校歌に関しては、歌を歌うためのアドバイスを盛り込みながら、校歌を練習します。(ワークショップでは弦楽四重奏の伴奏にのせて) いつもと違う伴奏で歌う校歌をより特別に感じ、更に本公演ではその伴奏が豪華になることから、 更なる期待感を持ってもらうことが可能となります。</p> <p>○質問コーナー 日頃なかなか身近にはいない演奏家や楽器についての質問はもちろんのこと、 本公演に関して楽しみにしている点や演奏曲に関する質問等も受け付け、更に本公演への期待感を強めることができます。</p>		
<p>ワークショップのねらい</p>	<p>○アンサンブル鑑賞へのねらい 演奏家による演奏や直接の指導、会話により、児童・生徒の皆さんが本公演での共演をより良い完成度で迎えられるようサポートを行います。 生演奏やお話を直接聞くことで、アンサンブルやオーケストラ、音楽について僅かでも興味を持ち、本公演への興味や関心を引き出します。 また、演奏家との距離が縮まることで、親近感が湧き、クラシック音楽に少しでも興味を持ったり、大人になってからでもオーケストラやクラシック音楽のコンサートへ足を運んでくれることを望んでいます。 自分自身が学生の頃に聞いた生演奏で音楽を好きになった経験があるので、今回出会う児童・生徒の皆さんにも本公演やワークショップが少しでも心と記憶に残り、大人になってから僅かでも思い出し、またそれが生演奏を聴くことに繋がるような体験ができればと願っています。</p>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>同日にワークショップ・本公演実施のため、本公演とは別会場(多目的室や音楽室、教室など)での実施が望ましいです。</p> <p>学校側のご要望によっては、コロナ対策(歌唱時のマスクの着用や半数をオンラインで開催する等)も可能ですので、お気軽にご相談頂ければと思います。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 認定特定非営利活動法人長崎OMURA室内合奏団】

## ①本事業に対する取り組み姿勢

地域におけるオーケストラの使命として、重要なポイントの一つに「次世代を担う子どもたちに芸術(生の優れた音楽)と触れ合う機会を提供する」ことが挙げられます。

当団もNPO法人としての四つの活動のひとつに「子どもの健全育成を図る活動」を上げ、五つの事業のひとつに「子ども達のための楽器体験、学校コンサートの企画・実施及び支援事業」を挙げて、結成以来事業活動を継続して行っています。

その成果もあり、平成26年度に長崎県より「県民表彰優良団体(教育文化)」等を受賞してきました。

当団の活動拠点、長崎県においてはオーケストラの音楽と触れ合う機会は、東京など都市圏や他の地方の県庁所在地と比べても少ないです。

さらに、県下に1,479もの島を抱えており、そのうち、有人島は72島、その中でも法指定の有人島は10市町で51島にのぼります。(法定外有人島も21島あり)

これらの離島やへき地については、オーケストラの音楽と触れ合う機会は皆無に等しく、子どもたちにとっては、オーケストラや使用する楽器は、教科書上でのものでしかないのが現実です。そういう中で20年間活動してきて、「学校巡回公演」の重要性を団員、スタッフ共に十二分に理解した上で、離島やへき地の子どもたちに生の音楽体験や初めて触る楽器の体験の楽しさを通して、本土の子どもたちと同等の体験と感動の時間になるよう、今回の活動を行っていきます。

豊かな自然に囲まれ、感性豊かに育ってきた離島やへき地の子ども達だからこそ、高品質の生の音楽を届け、音楽への興味・関心を育み、今後に繋げていきたいと考えています。その一翼を担えますと幸甚に存じます。

## ②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

・学校会場までや学校会場間の移動手段やタイムスケジュールを効率的に組み立てます。また、不意の天候不良によって大きく変動する可能性も考慮に入れます。

・学校との事前打ち合わせにおいて、学校ごとの特性や準備していただくものの漏れがないよう、「打合せ用チェックシート」を作成し使用することにより、スムーズな打合せに繋がります。

・生の音楽体験や楽器体験の効果が少しでも高まるよう、会場内の配置や団員による心のこもった参加誘導により、スケジュールの中で一人でも多くの子ども達が積極的に参加できるように心がけます。

・終了後の控室の清掃、整頓も積極的に行い、参加してくれた子どもたちや先生の気持ちに沿った終わり方で締めくくり、また次の巡回コンサートにも応募していただけるよう、繋がります。

本事業に対する  
取り組み姿勢、および  
効果的かつ円滑に実施  
するための工夫



## C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名 認定特定非営利活動法人長崎OMURA室内合奏団】

<p>C区分で事業を実施するに当たっての工夫</p>	<p><b>① 離島・へき地等における公演実績</b></p> <p>当団は、全国でも屈指の離島、へき地が存在する長崎県に生まれたオーケストラです。結成以来多数の離島、へき地の小学校、中学校でのアンサンブルによるコンサートを行ってきました。</p> <p>主な離島は、五島市、上五島町、壱岐市、対馬市、西海市、平戸市、松浦市に有人離島40島があり、所在する小中学校累計実績151校で開催しています。</p> <p><b>② 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで20年間151校で培ってきたノウハウが活せるので、公演及びワークショップの質が落ちることはありません。</li> <li>・会場の配置や音の特性など考慮した楽器配置や客席配置を心がけ、当日学校側とも協議し柔軟に対応していきます。</li> </ul> <p>その場所だからできる体験を大切に、小規模校では、演奏家の前に座って聴くだけではなく、演奏家の傍や隣に座って演奏を聴き、その音色や息遣いを間近で聴く体験や、楽器体験を全員に行ってもらうなどの工夫を盛り込みます。</p> <p><b>③ C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校の体育館にある設備を有効利用します。</li> <li>・特段の照明やひな壇等も不要のため、身軽に移動・仕込みが可能です。</li> <li>・特殊楽器や打楽器を用いない2管編成オーケストラの利点を生かし、楽器などの移動にトラックを使用せず、ワンボックス車を使用します。</li> <li>・スタッフの随行を極力抑え、演奏者のみで対応できるようにします。</li> <li>・交通、宿泊の手配が容易でない離島・へき地ではあるが、1日でワークショップとコンサートを実施できるよう、可能な限りワークショップ要員のみ前日入り、残り全員は当日入りができるよう、入念な移動スケジュールで運用します。</li> <li>・指揮者を立てないアンサンブルの為、指揮者分の経費を削減します。</li> <li>・演奏メンバーが司会を務めるため、別途司会者も立てずに実施可能です。</li> </ul>
----------------------------	---